



国際ロータリー第 2530 地区 東北第一分区

# 福島南ロータリークラブ会報

事務局連絡先 024-546-3793

## 第 32 回例会

### 2021.3.10

会員 73 名中 47 名出席 64.38%  
 修正 54 人 73.97%  
 メイクアップ 7 名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

### ◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



春夏秋冬と四季のある日本では、毎年、同じ時節を繰り返していながらも、人々は古の時代から、その年ごとに新たな楽しみとか、喜びを見つけて生活してきました。春を迎える喜びは、厳しい冬があったお蔭であり、春喧な日々山野が、芽吹き初めて、やがて万花が咲き競う。移り行く自然の美しさが人々の心を豊かに、そして、優しくしてくれます。

さて、2011年3月11日に発生した東日本大震災から明日で10年を迎えることとなります。震災と原発事故後の浪江町の荒れ果てた街並みと、もうすぐ咲くであろう夜ノ森の桜並木を見ると、あの滝廉太郎の荒城の月を思い出します。満開に咲く桜と煌煌と空に浮かぶ月は今も10年前も何も変わっていない。変わったのは、人間の営みだけです。10年前のあの震災で、家を失い、家族を失った老人のところに、ある人が訪れたとき、優しい笑顔で迎えてくれたそうです。その老人に、大変なご苦労をなさっているのに、どうして見知らぬ私に対してそんなに優しく、明るさを保っていらっしゃるのですか。と質問したら、人間というのは、全部失って命だけ残された極限状態になると、命があっても有り難い。生かされて有り難い。そして人を助けずにはられない。という人間本来の思いが現れるのだそうです。ところが、いろいろな社会の影響を受けて、名誉や財産を持つようになると、何故か、欲というものが顔を出してきて、心にゴミが溜まってくるのですね。と話していたそうです。私達も、過ぎ去った過去を嘆いたり、未だ来ない未来を憂いたりせず、過去に学び、未来を見つめ、ただひたすら謙虚な気持ちで今を生きていきたいものです。今思うことは、東日本大震災も原発事故も、そして新型コロナウイルスも私達からいろいろなものを奪ったことは間違いありませんが、考え方をやってみると、同じぐらい新たな大きな「気づき」と「学び」を与えてくれたのも事実であります。そして、どこの県の人よりも福島県の方々は、そのことを実体験として感じて、それを未来に活かす機会を磨いていることを考えてみるべきではないでしょうか。

今日は、誕生祝い、ロータリーの友読みどころ、次年度クラブ組織発表、そして、サッカーを中心としたスポーツの普及への取り組みと人々の健康増進を通じて地域社会の発展に寄与しようとされている特定非営利法人フォルテ福島代表佐藤厚様からお話を頂きます。盛沢山のプログラムで食事を頂きながらの進行となることをお許しください。

### 次回3月17日(水)第33回例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト
4. 会長挨拶
5. シトラスリボン寄与
6. 米山奨学金授与
7. ペッツ報告 (一條浩孝会長エレクト)
8. クラブフォーラム (社会奉仕委員会)
9. 幹事報告
10. 閉会点鐘

### 【 例会 予定 】

- 3月24日(水) クラブフォーラム、会員スピーチ、創立50周年例会進行説明
  - 3月31日(水) 創立50周年記念日例会 (東京麹町RCとワライン中継)
  - 4月7日(水) 家族観桜会(昼の例会)、R-刈の友読みどころ、誕生祝い他
- 【 地区・分区・その他関連行事 】
- 3月27日(土) 福島RC 70周年記念式典
  - 4月4日(日) 地区大会 11日(日) 地区大会特別研修セミナー



### ◆大切な皆様へ 一疫病「コロナウイルス」の終息を願って一

この度、当クラブの齋藤弘之会員(クラブ会報委員長)の お父様(齋藤和也様)より、「大切な皆様のために」新型コロナウイルスの終息を願って本気でお祈りいただきそのご朱印と素晴らしい記念品を会員全員にいただきました。このご厚意に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



< 中国伝統文化 >  
 中国出身の書家、一  
 唐沢 岳夫さん

親指、小指、または握った手の甲に墨を付けて紙の上を走らせ、生き生きとした文字を書く。とても珍しい指書道、拳書。

### ◆誕生祝い

#### 3月生まれ

- 渡辺 勇 会員 (S20 3. 25)
- 丸戸 清和 会員 (S23 3. 2)
- 藤橋 進一郎 会員 (S23 3. 19)
- 鈴木 洋子 会員 (S25 3. 1)
- 高橋 勇雄 会員 (S26 3. 22)
- 齋藤 高裕 会員 (S34 3. 9)
- 一條 浩孝 会員 (S35 3. 10)
- 八島 隆志 会員 (S39 3. 18)
- 弓田 智之 会員 (S49 3. 22)
- 石坂 一也 会員 (S51 3. 4)

#### 1月生まれ

- 菅野 良二 会員 (S31 1. 1)

☆皆さま方と誕生日をお祝いいたしました！



HAPPY BIRTHDAY Congratulations!



### 親睦活動委員会

### ◆クラブ協議会 (次年度 組織委員会発表)

一條 浩孝 会長エレクト



一條 浩孝 会長エレクトより、福島南ロータリークラブ「2021-2022年度 役員・理事・委員会・地区役員・委員(案)」が発表されました。次年度も宜しくお願い致します。



### ◆ゲストスピーチ

フォルテ福島 代表 佐藤 厚 様



クラブサッカーチーム<FORTE FUKUSHIMA FC>は、2011年3月の原発事故で福島県東北地区の子供たちが屋外でサッカーを出来なくなってしまったため、2012年3月にサッカーをやりたい3人の小学2~3年生をスクール生として、体育館での屋内活動で始めました。それ以来、すべては子供たちの夢のある未来のために、「個の成長」にこだわり、個の育成を重要視し、個性は大事に活かし、自分で考えは判断して、局面を個の力で打開出来る選手育成を目指しています。

来る、令和3年3月30日~4月2日には、佐藤厚様が実行委員長となって、市内外から840名の小中学生が参加する「第1回愉快的仲間たち福島復興記念サッカーフェスティバル」を開催される予定となっております。

地域青少年の健全育成にご尽力をいただき誠に有難うございます。また、今回お忙しい中ゲストスピーチいただき有難うございました。



福島から全国へ！世界へ！

フォルテ福島は福島県福島市を拠点に活動する少年サッカークラブです。